

題材名「卒業生へ学校生活の思い出ビデオをつくろう」

目標

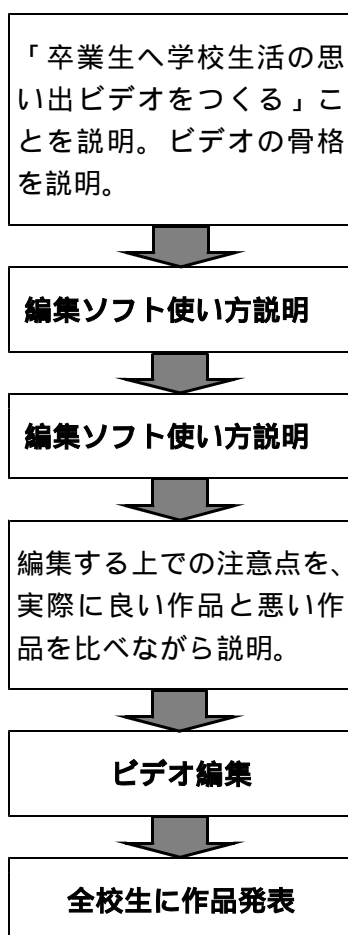
- ・ ビデオ編集ソフトの使い方を学ぶことを通し、コンピュータを扱うことの楽しさを知らせる。
- ・ 仕上がったビデオ作品を全校生に見せることで、自分の作品が感動を与えられることの成就感を味わわせる。

コンピュータを活用する利点

授業で、視覚に訴える教材が有効であることは、よく知られたことである。

また、難しい動画編集をやりとげることで生徒は達成感を味わうことができる。静止画や動画を工夫して取り入れ、編集するということは、美術的センスを必要とし、複合的に学習ができるということ、また自分たちが仕上げた作品が多くの人に、感動を与えることができるということを学ぶことができる。

授業の流れ



ICT 活用場面

出来上がった作品を、卒業式前に全校生に見せることを知らせ、ビデオ編集ソフトの使い方、を実際に操作をしながら覚えていく。
 スムーズにソフトが使いこなせるようになった時点で、より良い思い出ビデオを作る上での、注意点を説明し、ビデオの編集を開始する。
 お互いに作品を比べ合いながら、改良点を話し合い、作品を仕上げていく。授業のすべてで、コンピュータを扱いながら進めていく。

成果と課題

「卒業生への学校生活の思い出ビデオ」は、毎年恒例になっており、卒業生たちは、このビデオをととても楽しみにしている。ビデオ編集のために、生徒入学時から卒業時までの3年間の各行事を、教師、または生徒がビデオ撮影し、保存してあるテープを素材として使っている。

生徒たちは、ビデオ撮影は、「思い出ビデオ」に使用されることを知っているので、普段からいつビデオ撮影をされてもいいように、先輩として、見本となれるように意識しながら学校生活を送っている。

在校生たちは、感動を与えるビデオを作ろうと努力をし、卒業生たちは、ビデオの良い素材となるようよりよい学校生活を意識し、努力をすることで、よい相乗効果が生まれている。

課題としては、ビデオ編集は、コンピュータの高い処理能力を必要とするので、学校にあるコンピュータの処理能力では、編集することが難しい面がある。より性能のよいコンピュータが必要とされる。

ICT活用環境等

使用周辺機器	プロジェクター、DV カメラ
使用ソフト名	MegaVi DV
使用教室	コンピュータ教室